

学校だより

さくら



教育目標 やさしさ つよさ
たくましさのある さくら小の子

令和4年

12月号

12月1日発行

大島町立さくら小学校

〒100-0102 大島町岡田字長坂 113
電話 04992-2-8021 ファクシミリ 04992-2-8853

E-mail 02T000@izu-oshima.ed.jp

ホームページ [大島町立さくら小学校](#)

子供たちのやりたいを大切に!



特別活動主任 日下部 和哉

さくら小の自慢を一つ。「子供たちのやりたいを大切に!」

どの学習もそうですが、子供たちのやりたいと思う気持ちを大切にすることが一番の学習効果を生むことは明白と言えるでしょう。そんな気持ちを大切にした教育活動に、クラブ活動や委員会活動、スマさく班活動が挙げられます。

子供たちは、学校がよりよくなるように、より楽しくなるように、友達と議論しながら意思決定をしたり自己実現を図ったりしていきます。時にはうまくいかないこともありますが、友達と話し合いをしたり先生と相談をしたりして次の活動がよくなるように考えを巡らせます。そして、また実践的な活動につなげていけることに、特別活動の面白さが詰まっています。

今年度は、朝の時間を使って全校集会を開く機会も多く設けています。それぞれの活動を全校で共有して広げていくことで、学校全体でさくら小学校の取り組みを確認し、よい学校づくりにつなげます。



進んで仕事をしよう



12月 生活目標担当 長嶋 洋平

小学校で過ごす子供たちには、どのような「仕事」があるのでしょうか。日直の仕事、係の仕事、当番の仕事、高学年になると委員会やクラブの仕事もあるかもしれません。その他にも行事やスマさく班など、本当にいろいろな仕事があります。そして、どれも無くてはならない大切な仕事です。

しかし、時には面倒に感じることもあります。「どうして私がやらなきゃいけないの?」「ほんとは遊びたいのになあ…」それでも、みんな一生懸命に仕事をしています。なぜでしょうか?

仕事をするを「働く(はたらく)」といいます。「働く」というのは「傍(はた)を楽(らく)にすることだ」という話を聞いたことがあります。つまり、周りの人のために頑張ろう!という気持ちが「働く」には込められているのです。

さくら小の子供たちは、本当によく働いてくれます。やらなければならない「仕事」だけでなく、下級生の面倒を見たり「ちょっと、これ手伝って」と言ったときに快く引き受けてくれたりと、誰かのために働いている子をよく見かけます。すてきな学校だなあと感じます。

自分のすべきことをしっかりするのはもちろんですが、「誰かのために働ける」そんな素敵な子供たちがたくさん増えるような活動や声掛けをこれからも心がけていこうと思います。

先生たちの学び(本校の研修)

研修担当 阿部 幸太

自分の世界を広げる児童の育成(よりよい授業づくり)

さくら小学校では、「学びの中で子供たちがわくわくするような時間をたくさんつくりたい」という教員の思いから、今年度の研究は、「自分の世界を広げる児童の育成」としました。

子供たちが、学んだことをもとに、「もっと知りたい」「もっと学びたい」を次の学びにつなげていってほしいと考えています。もともと子供たちは「すばらしい学び手」であり、たくさんの方に興味・関心をもち、たくさんの「知りたい」「学びたい」に溢れていると考えられています。

一人一人の子供たちが感じる興味や関心を自分事として広げていけるように、どのような授業ができるのか知恵を出し合っていきたいと考えています。また、地域之力、つまり「大島の人・もの・こと」とつながりながら、実生活や自分たちの社会と結びつけて学習していくことで、一人一人が学びを広げられるようにしていくことで、社会参画や社会貢献を通じた達成感を味わえるような授業づくりを目指していきたいと考えています。

学校で学んだことを生かして、放課後や休みの日にも、大島でも出かけた先でも、学びを広げようとする子供たちをイメージして、子供たちと、地域のみなさんと、よりよい授業をつくっていききたいと考えています。



大島まるごと学校(教員研修)

4月に「大島まるごとカフェ」を行いました。これまでにゲストティーチャーや校外学習でお世話になっている地域の方を招いて、本校の教育について、大島の財(人・もの・こと)をどのように生かすことができるだろうかということを、一緒に考えました。

今年度は、この「大島まるごとカフェ」を通じてつながった地域のみなさんをお願いして、大島でしか学べないことを教えていただく研修を行っています。「子供たちに大島の財を使った授業づくりを目指すからには、まず教員が大島のことを知ろう」「子供たちにわくわくした学びをさせるには、まず教員がわくわくするような学びをしよう」というのが、この研修のねらいです。



また、2月の学習発表会で「先生が学んだ大島まるごと発表コーナー(仮)」を設けて、研修で学んだ大島の人・もの・ことについて、ご紹介する予定です。さらに、伊豆大島ジオパーク主催の「地域学習発表会」でも、地域の方々へのお礼と報告をしたいと考えています。先生たちが何を体験し、どんなことを考えたのか、楽しみにしていただければと思います。どちらも詳細が決まり次第、お伝えします。乞うご期待です。

＜生活目標＞ 進んで仕事をしよう

＜保健目標＞ かぜを予防しよう

＜給食目標＞ 食べ物の栄養を考えよう

12月行事予定

| 日 | 曜 | 朝学習 | 給食 | 学校行事 | スクールバス |
|----|---|--------|----|----------------------------|----------------------------|
| 1 | 木 | 過去問 | ○ | 校内研究授業（5年生） | 12346年 13:20 / 5年 14:20 |
| 2 | 金 | マラソン | ○ | 避難訓練 | 低14:40 / 中高15:30 |
| 3 | 土 | | | | |
| 4 | 日 | | | | |
| 5 | 月 | 壮行会 | ○ | 大島町共通学カテスト週間始 スクールカウンセラー来校 | 下14:40 / 上15:30 |
| 6 | 火 | 学級 | ○ | 連合音楽会 スクールカウンセラー来校 | 1年14:40/2~6年15:30 |
| 7 | 水 | マラソン | ○ | クラブ | 下13:20 / 上14:30 |
| 8 | 木 | 学級 | ○ | スマさくデー | 低14:40 / 中高15:30 |
| 9 | 金 | マラソン | ○ | 大島町共通学カテスト週間終 | 低14:40 / 中高15:30 |
| 10 | 土 | | | | |
| 11 | 日 | | | | |
| 12 | 月 | マラソン | ○ | | 下14:40 / 上15:30 |
| 13 | 火 | 学級 | ○ | | 1年14:40/2~6年15:30 |
| 14 | 水 | マラソン | ○ | | 低13:20 / 中高14:30 |
| 15 | 木 | 学級 | ○ | 個人面談 あおば面談始 | 全14:20 |
| 16 | 金 | マラソン | ○ | 個人面談 | 全14:20 |
| 17 | 土 | 学級 | × | さくらマラソン（スタート：仲の原園地） | 全11:15 |
| 18 | 日 | | | | |
| 19 | 月 | 基礎 | ○ | さくらマラソン予備日 個人面談 | 全14:20 |
| 20 | 火 | 委員会集会 | ○ | 個人面談 学校保健委員会 スクールカウンセラー来校 | 全14:20 |
| 21 | 水 | マラソン集会 | ○ | 個人面談 | 低13:20 / 中高14:20 |
| 22 | 木 | 生活安全集会 | ○ | 個人面談 スマさくデー あおば面談終 | 全14:20 |
| 23 | 金 | 終業式 | × | 終業式 4時間授業 大掃除 | 全12:20 |
| 24 | 土 | | | 冬季休業日始 | |
| 25 | 日 | | | | |
| 26 | 月 | | | | |
| 27 | 火 | | | | |
| 28 | 水 | | | | |
| 29 | 木 | | | | |
| 30 | 金 | | | | |
| 31 | 土 | | | 二学期終 | |

【令和5年1月の主な行事予定】

- 10日（火）始業式 4時間授業（12:20下校）
- 11日（火）給食始
- 13日（金）～17日（火）連合作品展（開発総合センター）
- 20日（金）～27日（金）校内書き初め展

